

令和6年度 美術科 2学年年間指導計画及び観点別評価規準

青梅市立新町中学校

学期	分野	領域	題材名 (配当時間)	学習活動	目標		観点別評価規準例					
					表現	鑑賞	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
							知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)
1学期	絵や彫刻など	表現中心	P.6～9 風景に思いを重ねて (5時間)	○心に残る風景をあらわすことに関心をもち、思い出の風景に、自分の感じたことをどう重ねてあらわすかを考えて主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 ○形や色、構図などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	思い出の風景に、自分の感じたことをどう重ねてあらわすかを考え、表現方法を工夫して描く。	作品を鑑賞し、作者がどのような思いを重ねて風景を描いたのか感じ取る。	形や色、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、風景に重ねた思いを全体のイメージで捉えることを理解している。	自分のあらわしたい心情に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	思い出の風景に、自分の感じたことをどう重ねてあらわすかを考えて主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	風景を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者がどのような思いを重ねて描いたのかを考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に思い出の風景に、自分の感じたことを重ねてあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者がどのような思いを重ねて風景を描いたのか感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
			P.22～23 墨で描く楽しさ (5時間)	○墨による多様な表現に関心をもち、墨ならではの効果をもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、墨の特性を生かして構想を練る。 ○墨の表現や余白の生かし方などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	墨の表現のさまざまな効果を知り、その表現を生かして作品を描く。	作品を鑑賞して、墨の表現の豊かさや余白により生まれる美しさなどを感じ取る。	墨の性質や質感などが感情にもたらす効果や、余白の効果、造形的な特徴をもとに、墨の世界を全体のイメージで捉えることを理解している。	墨の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	墨の表現のさまざまな効果をもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	墨の表現の豊かさや余白により生まれる美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に墨の効果を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に墨の表現の豊かさや余白により生まれる美しさなどを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2学期	絵や彫刻など	表現中心	P.40～41 躍動感を捉える (8時間)	○躍動感を捉えた表現に関心をもち、人の動きをじっくり観察することから主題を生み出す。 ○主題をもとに、ポーズや構図などの構想を練る。 ○針金や粘土などの特性を生かして、工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	人の動きを捉え、躍動感が伝わるように材料や用具を工夫して作品にあらわす。	さまざまな作品を鑑賞して、躍動感をあらわすための表現の工夫を感じ取る。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、人の動きの躍動感を全体のイメージで捉えることを理解している。	針金や粘土、絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	人の動きをじっくり観察することから主題を生み出し、躍動感が伝わるように単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	躍動感を捉えた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、躍動感をあらわすための表現の工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に人の動きを捉え、躍動感が伝わるように作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に躍動感をあらわすための表現の工夫を感じる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		鑑賞中心	P.36～39 絵巻物と漫画の表現 (1時間)	○絵巻物と漫画を鑑賞し、よさや美しさを感じ取る。 ○絵巻物と漫画の、時代を超えた表現の共通点や違いを感じ取り、美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げる。	/	絵巻物と漫画を鑑賞し、時代を超えた表現の共通点や違いを考える。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、絵巻物と漫画の共通点や違いを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	/	/	絵巻物と漫画の造形的なよさや美しさを感じ取り、時代を超えた表現の共通点や違いを考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	/	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に絵巻物と漫画から、時代を超えた表現の共通点や違いを考える鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		鑑賞中心	P.24～31 北斎からゴッホへ (2時間)	○日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取る。 ○日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げる。	/	作品を鑑賞し、日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考える。また、日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、美術文化への理解を深める。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、日本の美術が西洋の美術に与えた影響や、日本や西洋の美術文化を全体のイメージで捉えることを理解している。	/	/	日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	/	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、日本や西洋の美術作品について、よさや美しさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3学期	デザインや工芸など	表現中心	P.56～59 メッセージを伝える (4時間)	○メッセージを広く伝えるデザインに関心をもち、メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出す。 ○主題をもとに、作品形態や構成、配色やコピーなどの構想を練る。 ○形や色、材料、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	多くの人にメッセージが伝わるように、絵や文字などの組み合わせを考え、工夫してデザインする。	ポスターなどを鑑賞し、効果的にメッセージを伝える工夫を感じ取る。	形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、効果的な伝達のデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。	意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的にあらわしている。	メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出し、絵や文字などの組み合わせの効果や、わかりやすさと美しさの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	ポスターなど、メッセージを伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫などを考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に多くの人にメッセージが伝わるように工夫してデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にポスターなどの作品から、効果的にメッセージを伝える工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		表現中心	P.66～67 あかりがつくる空間 (10時間)	○さまざまなあかりのデザインに関心をもち、使う人や設置する場所などの条件をもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、材料による光の透け方や漏れ方などを考えながら構想を練る。 ○材料の特性を生かし、形や色なども工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	光の効果を考え、材料の特徴を生かして、使う人や設置する場所に合うあかりをつくる。	作品を鑑賞し、さまざまな光が生活に与える印象や効果への理解を深める。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、光が生活に与える印象や効果を全体のイメージで捉えることを理解している。	材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的にあらわしている。	使う人や設置する場所などの条件をもとに主題を生み出し、光の効果と使いやすさや機能、美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	さまざまなあかりの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、光が生活に与える印象や効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に光の効果を考え、材料の特徴を生かして、使う人や設置する場所に合うあかりをつくる表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にさまざまな光が生活に与える印象や効果への理解を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。